

2009 年度 環境工学委員会 運営委員会 自己評価

- 活動の活性化を促すことをねらいとします。
- 概ね、最近5年間程度をふり返って評価してください。
- 自己評価の目安は以下を参照のこと。
 - AA 評価：90 点以上
 - A 評価：80 点から 90 点
 - B 評価：70 点から 80 点
 - C 評価：60 点から 70 点
 - D 評価：60 点未満
- 不明の場合は、「不明」と記入してください。
- 記入欄は適宜広げて記入してください。

(2010年02月14日作成)

運営委員会名	環境振動運営委員会	主 査 名：濱本卓司 就任年月：2007.4.1
設置期間	年 月 ～ 年 月	
1. 活動の 戦略性	<p>(1) 運営委員会の目的、ビジョンについて記してください。もし、具体的な中期計画があれば記してください。</p> <p>「地盤・建物等、ある広がりをもって我々を取り巻く境界の日常的な振動」を環境振動の定義として、環境振動に関連する評価、測定、予測などに関し、学術的な研究推進、一般社会への知識の普及を目的として活動を行っている。</p> <p>特に、中期計画を策定はしていないが、最新知見をもとに、1991年に刊行した「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説（第1版）」の改訂を常に念頭に置いている。（ちなみに、第2版は2004年に刊行されている）</p>	
	<p>(2) 目的、ビジョン、中期計画は建築学会の中長期計画（「建築学と本会の発展のための中長期計画」）の内容と整合しているか。</p> <p>学会が実現すべき価値として挙げられている、学術基盤の整備、知的資産の創出、会員サービス、社会貢献をもとに中長期計画が策定されている。上記運営委員会目的、ビジョンは中長期計画に記された具体的な行動項目と整合した委員会活動を活発に行っている。例えば、指針作成など学術基盤整備、潜在的な課題の発掘など。</p>	
	評価（ A ）	
2. 活動内容、 人材確保等	<p>(1) 新規性のあるテーマが取り上げられているか。</p> <p>一例として、住宅用設備機器には振動のみならず低周波数の音を発生する機器があるが、いままで音環境運営委員会でもその周辺環境に係わる課題について取り上げられていなかった。当委員会において音環境運営委員会と連携しながら WG を設置、検討し、顕在化が懸念される問題への対応として、現在普及書との位置づけで事例集刊行を目指している。（2010年3月刊行予定）</p> <p>また、運営委員会において常に社会ニーズ他としての新規テーマをサーチすることに努めている。</p>	
	<p>(2) 特筆すべき社会への貢献活動や成果があれば記してください。</p> <p>特になし</p>	

	<p>(3) 新しい若手人材、多様な分野や立場の人材の発掘に努力しているか、またそのような人材が大会発表、委員会等、活動に参画してきているか。</p> <p>委員に欠員が生じた場合には、公募により委員選考を行っている。また、委員会、小委員会傘下に設置される WG においても、若手人材、多様な分野や立場の人材の発掘を心がけている。</p> <p>一例ではあるが、委員会傘下の WG として、戸建て住宅の振動特性評価 WG を設置し、多くの新しいハウスメーカーの方が WG 委員として活動を行っている。</p>																																																																																																																																												
<p>3. 社会への情報公開</p>	<p>(1) 小委員会委員の公募状況 2005 年度：3 委員会すべて実施 2006 年度：3 委員会すべて実施 2007 年度：1 委員会で実施、2 委員会定員のため不実施、1 委員会で不実施 2008 年度：3 委員会で実施、1 委員会定員のため不実施</p> <p>(2) ホームページでの情報発信の有無 (有) 広報 WG を設置し、ホームページにより委員会議事録の公開、本委員会に係わる情報提供等を速やかに、タイムリーに提供している。</p> <p>(3) その他、特筆すべき事項（国際的な情報発信など） 特になし</p>																																																																																																																																												
<p>4. 活動状況 （基礎データの整理：過去5年間の推移の概要）</p>	<p>(1) 論文集掲載数、技術報告集掲載数、大会発表題数</p> <table border="1" data-bbox="352 1211 1434 1518"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">論文集</th> <th rowspan="2">技術報告集</th> <th colspan="2">大会梗概集</th> </tr> <tr> <th>発表題数</th> <th>うちオーガナイズトセッション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2005</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2006</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2007</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>36</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2008</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>40</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2009</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 運営委員会・小委員会の開催回数、委員の出席状況、メール審議状況</p> <table border="1" data-bbox="352 1563 1434 1966"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">運営委員会</th> <th colspan="3">(環境振動測定分析) 小委員会</th> <th colspan="3">(環境振動評価) 小委員会</th> <th colspan="3">(環境振動制御技術) 小委員会</th> </tr> <tr> <th>開催回数</th> <th>1回の平均出席人数 / 委員人数</th> <th>メール審議・回</th> <th>開催回数</th> <th>1回の平均出席人数 / 委員人数</th> <th>メール審議・回</th> <th>開催回数</th> <th>1回の平均出席人数 / 委員人数</th> <th>メール審議・回</th> <th>開催回数</th> <th>1回の平均出席人数 / 委員人数</th> <th>メール審議・回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2005</td> <td></td> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td>/12</td> <td></td> <td></td> <td>/15</td> <td></td> <td></td> <td>/14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2006</td> <td>3</td> <td>12/17</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8/13</td> <td></td> <td>5</td> <td>10/15</td> <td></td> <td>6</td> <td>10/15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2007</td> <td>5</td> <td>13/17</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>8/14</td> <td></td> <td>5</td> <td>8/15</td> <td></td> <td>6</td> <td>9/15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2008</td> <td>5</td> <td>13/17</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9/14</td> <td></td> <td>5</td> <td>10/15</td> <td></td> <td>6</td> <td>10/15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2009</td> <td>5</td> <td>14/19</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>11/12</td> <td></td> <td>5</td> <td>11/15</td> <td></td> <td>6</td> <td>9/13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>5</td> <td>13/17</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9/13</td> <td></td> <td>5</td> <td>10/15</td> <td></td> <td>6</td> <td>10/15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年度 (環境振動性能設計法) 小委員会 () 小委員会 () 小委員会 () 小委員会</p>	年度	論文集	技術報告集	大会梗概集		発表題数	うちオーガナイズトセッション	2005	1	0	32	0	2006	2	3	21	0	2007	3	1	36	0	2008	6	1	40	0	2009	—	—			平均					年度	運営委員会			(環境振動測定分析) 小委員会			(環境振動評価) 小委員会			(環境振動制御技術) 小委員会			開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	2005		/			/12			/15			/14		2006	3	12/17	3	6	8/13		5	10/15		6	10/15		2007	5	13/17	3	7	8/14		5	8/15		6	9/15		2008	5	13/17	3	6	9/14		5	10/15		6	10/15		2009	5	14/19	3	5	11/12		5	11/15		6	9/13		平均	5	13/17	3	6	9/13		5	10/15		6	10/15	
年度	論文集				技術報告集	大会梗概集																																																																																																																																							
		発表題数	うちオーガナイズトセッション																																																																																																																																										
2005	1	0	32	0																																																																																																																																									
2006	2	3	21	0																																																																																																																																									
2007	3	1	36	0																																																																																																																																									
2008	6	1	40	0																																																																																																																																									
2009	—	—																																																																																																																																											
平均																																																																																																																																													
年度	運営委員会			(環境振動測定分析) 小委員会			(環境振動評価) 小委員会			(環境振動制御技術) 小委員会																																																																																																																																			
	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回																																																																																																																																	
2005		/			/12			/15			/14																																																																																																																																		
2006	3	12/17	3	6	8/13		5	10/15		6	10/15																																																																																																																																		
2007	5	13/17	3	7	8/14		5	8/15		6	9/15																																																																																																																																		
2008	5	13/17	3	6	9/14		5	10/15		6	10/15																																																																																																																																		
2009	5	14/19	3	5	11/12		5	11/15		6	9/13																																																																																																																																		
平均	5	13/17	3	6	9/13		5	10/15		6	10/15																																																																																																																																		

	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回	開催回数	1回の平均出席人数 / 委員人数	メール審議・回
2005		/			/			/			/	
2006		/			/			/			/	
2007		8/9	5		/			/			/	
2008		7/9	6		/			/			/	
2009		10/10	6		/			/			/	
平均		8/9	6		/			/			/	
(3) 成果の公表状況 (公開の研究集会等開催、出版物等)												
年度	内 容											
2005	第 24 回環境振動シンポジウム「都市型環境振動対策 —実務からのアプローチ—」(参加者約 75 名)											
2006	第 25 回環境振動シンポジウム「環境振動の性能設計はどこまで可能か」(参加者約 80 名)											
2007	第 26 回環境振動シンポジウム「環境振動の現状と新たな視点 —対策検討事例と社会ニーズを通して—」(参加者約 100 名)											
2008	第 27 回環境振動シンポジウム「設計フローと性能ランクの構築にむけて」(参加者約 85 名)											
2009	第 28 回環境振動シンポジウム「環境振動における予測・シミュレーション技術の最前線」(参加者約 90 名)											
評価 (A)												
5. 全体としての評価	評価 (A)											
	全体としての評価に関する自由記述											